

38. AEDによる除細動

<到達目標>

- ・ 循環のサインを確認できる。
- ・ 電極パッドを正しく装着できる。
- ・ 放電ボタンを押す際、患者の体に触れていないことを確認できる。
- ・ AEDの指示に従い、除細動ができる。
- ・ 除細動後、直ちに胸骨圧迫と人工呼吸を再開できる。
- ・ 後片付けができる

<設定場面>

歯科医院の待合室で患者が倒れた。意識、呼吸の確認ができず、歯科医師は手が離せない状況である。現在救急車を要請し、AEDが到着したところである。

<治療手順>

1. 循環の確認

頸動脈を3指で触れ、脈拍の有無を確認する。

2. AED処置 必要器材：AED

循環のサインがないと判断した時点でAED処置を行う。

(心臓マッサージはAEDの準備が整ってAED機器から指示がでるまで中断しない)

AEDの電源をいれ、電極パッドを胸部に貼り付ける。

(パッドに貼り付け位置が図示してあるのでそれに従う)

AEDが心拍を自動的に解析し、除細動が必要であれば指示が出るので、周囲の安全性を確認した上で通電ボタンを押して通電する。

(解析中は患者に触れない)

除細動後は直ちに胸骨圧迫と人工呼吸を再開する。

普段どおりの呼吸が戻った場合は、電極パッドを付けたまま患者の身体を横向きにして救急隊員の到着を待つ。

38. AEDによる除細動

必要器材

①AED